

2016年10月18日

第2号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース



新潟県知事選勝利！野党統一の勝利！

市民と野党の共闘で「再稼働ノー」の流れ大きく

10月17日投票の新潟県知事選挙で、市民と野党の統一候補・米山隆一氏が、安倍政権と電力業界の全面後押しをうける与党候補を破り勝利しました。「福島原発事故の収束・検証なしに柏崎刈羽原発の再稼働は許されない」との審判を下し、市民と野党が力を合わせれば、勝利できることを明瞭に示しました。7月の九州電力川内原発の一時停止を公約した鹿児島県知事選挙に次ぐ勝利となります。

新潟県知事選挙は、柏崎刈羽原発の再稼働を最大の争点にたたかわれました。また、「TPPから地域の多様な農業、家族的農業、日本一の米どころ新潟県の農業を守りぬこう」との訴えが県民をうごかしました。原発再稼働ストップ、TPP批准阻止へむけての流れを加速させ、安倍政権に痛打を与える一歩となりました。【憲法共同センターNEWS 第174号】

核兵器廃絶国際デーに呼応し各地で行動～ハチ公前行動で344人が署名～



「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」推進連絡会は9月26日、国連が定めた核兵器の全面廃絶のための交際行動デーに当たり、東京・渋谷ハチ公前で署名活動を行いました。日本原水協をはじめ、連絡会に参加賛同する17団体が行動し、被爆者22人を含む約50人が参加しました。

被爆者の訴えを聞いた通りがかりの若者や外国人観光客が次々と署名。被爆3世だという若い女性は、「祖母は自分の子どもが血液の病気にさいなまれるのではと悩んでいた。核兵器はなくしてほしい」と署名しました。スペインから来た観光客は「出身はナチスドイツの爆撃を受けたゲルニカの近くだ。1週間前に広島に行ってきた。署名には賛同する」と述べていました。1時間の行動で、344人分の署名と1300円の募金が寄せられました。NHK、中国新聞、時事通信、しんぶん赤旗が取材しました。【2016年9月27日発行 日本原水協活動交流ニュース】

全労連女性部～憲法宣伝2015連続行動～

9月13日第1回女性部常任委員会の前に、御茶ノ水駅頭で、「戦争法発動許すな」と宣伝行動を行いました。この日は女性部常任委員と全労連の女性事務局員9人で、新しい署名「南スーダンからの撤退を求める署名」「沖縄への基地の押しつけ撤回を求める署名」を集めました。会議前の30分に満たない宣伝でしたが、南スーダン署名21筆、沖縄署名16筆が集まりました。【全労連女性部ニュース No.734】



PKO緊急署名（団体）は10月27日に提出！

10月27日(木)防衛相に対して南スーダンPKOに関わる団体署名を提出します。各組織、支部、分会(それぞれの青年部、女性部などなど)等からの団体署名を10月24日(月)までに憲法共同センター事務局まで現物またはFAXで送付をお願いします。

送付先：東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F 憲法共同センター

FAX：03-5842-5620

ダウンロードURL：

<http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2014/10/a6df72f9089be6a30d6ead14bbea7b14.pdf>